

# 令和7年度 教育実践研究フォーラム

大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻(教職大学院)

## 令和8(2026)年2月20日(金)

12:50-17:00(受付12:20より)

本フォーラムは、修了を迎える大学院2年生による、教職大学院での2年間の学修・研究の成果の発表の場であるとともに、学校教育の未来について語り合う場でもある。修了生は、学校現場での実践課題に、できる限り理論的・学術的な解釈を行い、その改善や解決に向けた探究に取り組んできた。その成果を関係者と共有し議論することで、新たな知見が生み出されることを期待している。また、パネルディスカッションでは、学校現場・教育行政・高等教育の垣根を超えた対話を企画し、年度のまとめに相応しい参加型のフォーラムとすることを目的としている。

12:50-13:00 開会行事

13:10-15:00 教育実践研究報告会

修了生15名が4分科会に分かれて、学修・研究成果を報告  
15:15-16:45 パネルディスカッション

「心理的安全性の視点から学校づくりと教育実践を考える」  
コメンテーター：

大分県教育庁教育次長 木村 典之 氏

報告・パネリスト：

大分市立竹中中学校教頭 安部 直子 氏

杵築市教育委員会学校教育課長

吉本 研二 氏

大分大学教育学部附属小学校長

廣田 秀俊 氏

コーディネーター：

大分大学教職大学院教授 内田 昭利

16:45- 閉会行事

開催場所：

大分大学教育学部講義棟(対面開催)  
(大分市旦野原700番地)

申込・問合せ：

申込フォーム：<https://forms.gle/a6ecbLeH9QYdGMjF7>  
(申込締切 2月13日(金))

問合せアドレス：kiyokuni@oita-u.ac.jp (担当：清國)



令和7年度 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）  
教育実践研究フォーラム 実施要項

1. 趣 旨 教職大学院における2年間の学修・研究の成果は、理論と実践の往還を意図して築き上げた貴重なものである。修了生の取組は、それぞれの設定した学校教育の課題に迫るにあたり、研究的な視点から理論的根拠を示しつつ、丁寧に探究していく結果でもある。その成果を関係者等に発表し、共有することによって、広く大分県の学校に波及効果をもたらし、学校改善につながることが期待される。また、学修・研究成果の協議を通して、教職大学院の使命や存在意義を改めて問い直し、さらなる充実に資することを目的とする。
2. 主 催 大分大学大学院教育学研究科教職開発専攻（教職大学院）
3. 日 時 令和8年2月20日（金） 12：50～17：00
4. 場 所 大分大学教育学部100号教室（全体会・パネルディスカッション）  
大分大学教育学部201号教室～204号教室（分科会1～4）  
(大分市大字旦野原700番地)
5. 対 象 大分大学関係者、大分県教育委員会関係者、市町村教育委員会関係者、現職院生現任校関係者、連携協力校関係者、大分大学教育学部同窓会、大分県内公立学校教職員、他大学の教職大学院関係者
6. 日 程 12:20～ 受付  
12:50～13:00 開会行事  
13:10～15:00 教育実践研究報告会（4分科会・院生15名）  
15:15～16:45 パネルディスカッション  
16:45～ 閉会行事  
17:00 全日程終了

12:20 12:50 13:10		15:00 15:15		16:45 17:00	
受付	開会行事	【第1部】 教育実践研究報告会	休憩	【第2部】 パネルディスカッション	閉会

7. 内容 第1部 教育実践研究報告会 (13:10~15:00)  
スケジュールについては別紙「教育実践研究フォーラム日程表」を参照のこと

第2部 パネルディスカッション (15:15~16:45)

テーマ：心理的安全性の視点から学校づくりと教育実践を考える

事例報告1：小規模特認校の使命を果たす竹中中学校の取組  
事例報告2：教職大学院の教育実践研究を生かして  
事例報告3：教職員の働きがいを高める附属小学校の取組

ねらい：近年、急激な社会変化と学校を取り巻く環境変化の中で、教職員や子供の心と身体のバランスが崩れるケースが増加している。それらは、休職・中途退職であったり、不登校であったりという形として現われる。また、教職員の年齢構成の偏りから、若手教員が経験豊富な先輩や同僚教員から学べたり、教員同士で教育観・子ども観等をぶつけ合いながら切磋琢磨できたりする機会が減少しているようにも見受けられる。教職員の若返りと働き方改革とが相俟って、学校の力が弱体化しないよう、有効な手立てを講じる必要がある。教職員のやりがい・働きがい、そして児童生徒の学びへの意欲に光を当て、学校の抱える課題の克服を展望したい。そこで、今回は学び合い・高め合える関係性に注目して、心理的安全性をテーマに掲げて議論を深めていきたい。

登壇者：

コメンテーター	大分県教育庁教育次長	木村 典之 氏
報告・討論者	大分市立竹中中学校教頭	安部 直子 氏
報告・討論者	杵築市教育委員会学校教育課長	吉本 研二 氏
報告・討論者	大分大学教育学部附属小学校長	廣田 秀俊 氏
コーディネーター	大分大学教職大学院教授	内田 昭利

8. 申込 下記のURLまたは二次元コードから申込フォームにアクセスし、必要事項を記入してください。申込〆切は、令和8年2月13日（金）とします。

<https://forms.gle/a6ecbLeH9QYdGMjF7>



9. 問合せ 担当：大分大学教職大学院 清國祐二  
メール：[kiyokuni@oita-u.ac.jp](mailto:kiyokuni@oita-u.ac.jp) 電話：097（554）7978

## 【別紙】

## 教育実践研究フォーラム日程表 令和8年2月20日(金) 12:50~17:00

開会行事 (12:50~13:00) (100号教室)

## 第1部 教育実践研究報告会 (13:10~15:00)

分科会1 (201号教室)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	学級経営・生徒指導	学卒	学級における「居心地の良さ」はどう生まれるか —児童同士の相互作用を活性化する教師の働きかけに着目して—	みやした まこと 宮下 真実
13:35~14:00	授業開発・教科教育	学卒	児童の多様な見方・感じ方を引き出す国語工作科の授業開発 —抽象的な作品の表現・鑑賞に着目して—	ふじもと るな 藤元 瑠月
14:05~14:30	授業開発・教科教育	学卒	英語絵本を用いた外国語学習の可能性 —読み聞かせ活動に着目して—	なかやま しお 中山 秋桜
14:30~14:55	授業開発・教科教育	学卒	多様な絵本体験を促す国語科の授業開発 —学習環境デザインに着目して—	おだ こうよう 小田 康陽

分科会2 (202号教室)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	学級経営・生徒指導	学卒	中学生の自己受容の実態を活かした実践的研究 —道徳科とフレーミングを関連させた指導—	みなと おうた 湊 桜大
13:35~14:00	授業開発・教科教育	学卒	授業の振り返りにおける教師の働きかけに関する一考察 —本時のねらいを意識した中学校理科の実践を通して—	ごうだ あきら 郷田 英
14:05~14:30	授業開発・教科教育	学卒	中学校理科における協同学習を用いた実践的研究 —相互作用と理科への興味・関心に着目して—	つざき たいが 津崎 大雅

分科会3 (203号教室)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	授業開発・教科教育	学卒	高等学校国語科古典の学習を深めるための実践的研究 —英訳との比較で修辞の効果の気付きにつながるのか—	いのうえ かずし 井上 和巳
13:35~14:00	授業開発・教科教育	学卒	高等学校国語科「論理国語」における生徒の批判的思考の育成 —思考の枠組みを明確に示した学習活動を通じて—	よしだ たろう 吉田 大朗
14:05~14:30	学校経営	現職	個の財を起点とした人材育成の研究 —「創造的実践人」を生み出す省察・自己決定・創造の循環—	えとう まさかず 衛藤 輝一
14:30~14:55	学校経営	現職	子どもの主体性を育む教師の力量形成に関する研究 —探究的な学びへの教師の役割に着目して—	ごとう みきひろ 後藤 幹博

分科会4 (204号教室)				
発表・質疑時間	主な分野	現職・学卒	テーマ	発表者
13:10~13:35	学校経営	現職	<組織—チーム—個人>のレジリエンスを高める学校組織づくり —主幹教諭の関わりを中心に—	しぶや ともみ 渋谷 朋美
13:35~14:00	学校経営	現職	生徒の成長を促す若手教師の力量形成に関する研究 —経験学習を後押しする「メンタリング」—	のざき あやこ 野崎 紋子
14:05~14:30	学校経営	現職	学校の内発的改善力を高める対話型組織開発に関する研究	まき かずもと 牧 一統
14:30~14:55	学校経営	現職	対話を通した教員の主体性と協働性の向上 —学年主任会とOJTの充実を起点に—	もりやま ちさ 森山 智唆

※テーマについては仮提出の段階ですので、軽微な修正・変更の可能性もあります。

## 第2部 パネルディスカッション (15:15~16:45) (100号教室)

テーマ：「心理的安全性の視点から学校づくりと教育実践を考える」			
事例報告1：小規模特認校の使命を果たす竹中中学校の取組			
事例報告2：教職大学院の教育実践研究を生かして			
事例報告3：教職員の働きがいを高める附属小学校の取組			
コメンテーター	大分県教育庁 教育次長 木村 典之 氏		3つの報告を踏まえつつ、心理的安全性に関わる大分県教育行政としての現状認識や取組状況についてご説明をいただきます。また、多様で多元的なディスカッションを受けて、教育行政と言うよりは、これまでのご経験に基づき感じたことを、まとめの形でご発言いただきます。
パネリスト	大分市立竹中中学校 教頭 安部 直子 氏	報告1	「小規模特認校の使命を果たす竹中中学校の取組」と題して、学校現場の実践をもとに、多様な背景をもつ生徒の姿を中心に、心理的安全性についてご報告をいただきます。特に、生徒支援の視点からディスカッションに切り込んでいただきます。
パネリスト	杵築市教育委員会事務局 学校教育課長 吉本 研二 氏	報告2	「教職大学院の教育実践研究を生かして」と題して、教職大学院時代に深めた実践研究の成果を振り返っていただき、それらが現在の教育行政の仕事に与えている影響についてご報告をいただきます。特に、学校支援の視点からディスカッションに切り込んでいただきます。
パネリスト	大分大学教育学部 附属小学校長 廣田 秀俊 氏	報告3	「教職員の働きがいを高める附属小学校の取組」と題して、附属小学校での組織マネジメントへの取組を踏まえて、魅力と働きがいのある未来の学校づくりについてご報告をいただきます。特に、教職員支援の視点からディスカッションに切り込んでいただきます。
コーディネーター	大分大学教職大学院 副研究科長・教授 内田 昭利		パネルディスカッション全体の舵取りを担う。

閉会行事 (16:45~17:00) (100号教室)